

静岡大学 理学部 同窓会会報

NO.14

発行所
静岡大学理学部同窓会
静岡市大谷836
静岡大学理学部内
Tel 054-237-1111(代)
会長 赤池大樹

平成十一年六月五日(土)

会長 赤池大樹



我が母校静岡大学は平成十一年(一九九九年)六月一日をもって創立五十周年



は、御健勝で、御活躍のこととお慶び申し上げます。

前号にてお知らせいたしましたように平成八年四月から理学部は数学・物理学・化学・生物地球環境科学の四学科体制となり、新しい理工融合の理工学研究科(博士前期課程と後期課程)もスタート致しました。お陰さまで多数の優秀な学部学生ならびに大学院生を迎えることが出来、また教官スタッフも充実しつつあります。今後の大きな課題は、現代科学の多様な学問分野

を迎えることとなります。つまり一九四九年が創立ということとなります。一九四九年といいますが、湯川秀樹博士がノーベル物理学賞を受賞されました。翌年には朝鮮戦争が起きました。私は四歳でした。一口に五十年と言いますが、この五十年は政治、経済、文化のあらゆる面で激動の

半世紀でありました。ご承知のように我が理学部は、一九六五年四月に理学部から独立した学部でありますので、理学部としては三十四年目にあたるわけでありました。振り返ってみますと、一九六四年(昭和三十九年)には、東京オリンピックが開催され翌年四月に理学部が発足いたしました。いまは、まさに目的意識をもって行動することが求められているのです。はるかな時代から又ごく最近の理学院を卒業され、実社会において活躍されておられる同窓生の皆様方も、それぞれの立場で目的意識をもち更なる飛躍が求められて

に於ける急速な進展に対応できる教育・研究を行なうことにより、内的な充実を計る事です。このためには現教職員並びに学生諸君のたゆまざる精進が求められます。昨年度サッカーのワールドカップ予選の際の合言

更なる飛躍を目指して

理学部長 太田吉彦

「フランスへ行こう」があります。日進月歩で進展する科学のなかで、特に基礎科学を担当する理学部にとっても、今後の進むべき道は決して平坦ではありませんが、新しい創造性の世界を求めて頑張らなければめまぐるしく変わる世の中の動きに置いていかれて

た。当時大学は静岡市の大岩にありました。教育学部、理学部、人文科学部、法経短期学部がありました。校舎は木造で軍隊が使用していたと聞きました。教室の数が足りず、事務室や教室はいくつかプレハブでした。しかしとくに不平不満もなく、勉学に、部活動に熱中いたしました。発足当時は、教、物、化、生の四学科で構成されており、教、物と化・生との二つのグループに分かれて講義を受けておりました。女性は数学と生物にそれぞれ一人ずつおられたと思います。私は数学科でしたが、先生方がなかなか厳しかったのかそれとも学生が力不足だったのか分かりませんが、三五人入学しましたのに、卒業のときはわずか一九人だったよ

うに記憶しております。試験が大変難しく、いまでも時々夢でうなされることがあります。最近では学科も改編され、理学部の学生も多くなりまた女性の数も大変増えました。この三五年で大きく変わったようです。終わりに、平成十一年六月五日に創立五十周年記念式典及び祝賀会、記念講演が計画されております。費用も国費だけでは十分ではなく、教職員、同窓会、企業などに呼びかけて寄付金をお願いしているところであります。ぜひ母校の発展のために積極的にご協力をお願いいたします。また、都合がつかましたらご参加いただき旧交を温めたいと思っております。みなさまがこの一年健康で送られますよう心からお祈り申し上げます。

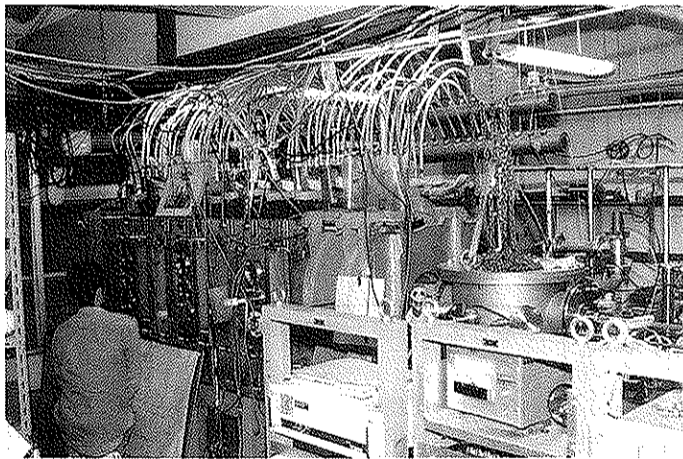
高度成長、学生運動の高揚、バブル崩壊といった時代の流れを経て、理学部卒業生が、社会で活躍していることを願って止みません。さて、最近の物理学科の近況をお知らせします。物理学科のスタッフは、世代交代の時期にあたります。森口教授は平成四年三月に退官なされ、中山潔教授、吉田徳助教授、山下繁男助教授は、平成七年三月に退官なされ、米山徹教授は、平成九年三月に退官なされました。後任として、青山昭五助教授、嶋田大介助手、海老原孝雄助手、松本正茂助手が加わりました。また、教養部改組に伴い、堀田明男教授、天岸祥光教授、長島弘幸教授、佐伯紘一教授、松山晶彦助教授、佐藤信一助教授が、旧教養部より仲間入りしました。現スタッフ数は二〇名です。

平成八年度に学部改組が行なわれ、物理学科五講座が二大講座に再編されました。また、大学院改組、博士課程設立により、大学院は、理工学研究科という名前前で、工学部と連携することになりました。博士前期課程(修士課程)は、物理学専攻、博士後期課程では、物質科学専攻の枠内で高度研究・教育を行なっております。

物理学科の近況

三重野 哲

パルス測光装置やMPDプラズマ装置、X線回折装置などによる大学院教育、ベンチャー・ビジネス・ラボラトリーへの参画など、高度科学技術、情報社会に対応した学生教育と国際レベルの研究を進めつつあります。昨今は、大学教官任期制の可否、学生人口の単調減少、物理教職求人への減少、大学院進学率の増加、情報系求人の増大、インターネットによる求人など、時代の変化が起きている世紀末の時期に於いて、時代に合った組織の柔軟な運営が求められていると思えます。理学部卒業生の皆様には、是非、理学部発展の為に、ご協力をお願いしたいと思っております。意欲的な学生がどんどん集まって欲しいと思っております。物理学科親睦会が運営されていますが、同窓生との交流としてはまだ十分機能していません。同窓生名簿には、空欄が目立ちます。学外からのサポートも、時には必要に思えます。最後に、現スタッフの研究分野を紹介します。基礎物理学講座・堀田明男教授(原子核と核子の実験)、鈴木武彦教授(原子核反応の理論)、青山昭五助教授(素粒子論、溜淵継博助教授(統計基礎論)、松山晶彦助教授(中間エネルギー原子核反応理論)、富田誠助教授(レーザー光物性の研究)、佐藤信一助教授(非線形流体力学の研究)、平嶋秀治助手(重力理論)、嘉規香織助手(核子・原子核反応理論) 物理学講座・小島英夫教授(固体核反応論)、山際啓一郎教授(プラズマ非線形波動実験)、天岸祥光教授(電磁流体波動実験)、浅野勉教授(高分子物性実験)、石館健男教授(誘電体光物性実験)、佐伯紘一教授(プラズマ中渦、ホール、ソリトンの実験)、三重野哲助教授(非平衡プラズマ、フラーレンの実験)、山崎昌一助教授(生体膜の生物物理学)、嶋田大介助教授(酸化物質超伝導の研究)、海老原孝雄助手(固体の磁性と伝導の研究)、松本正茂助手(超伝導などの固体電子論)



電磁流体波動実験装置

職場紹介

日本電子計算株式会社

藤田 吾郎

皆さんは日本電子計算またはJIPという文字を新聞あるいは雑誌で見かけたことはありませんか。日経、日本情報産業、株式関連新聞等、雑誌では日経オープンシステムをはじめとする専門誌に、当社に関する記事あるいは当社の技術者が寄稿した技術記事がしばしば掲載されます。この日本電子計算が、私が卒業以来職場として働いてきました会社名です。当社は「情報サービス産業」という業種に属します。この業界にはNTTデータ通信、日立ソフトウエアエンジニアリング、CSK等これからの日本の高度情報化社会の構築を担う会社が数多くあります。当社はこの中であって、売上規模で第九位にランクされるリーダ的企業です。まずは沿革を紹介いたします。

設立は一九六二年十二月。当時はまだコンピュータの一般企業、官公庁、地方自治体での普及率は低く、大型計算機を使った受託計算業務を中心とした事業を開始しました。一九八〇年代後半から始まったダウンサイジング、オープン化を経て、現在の事業内容はSI事業（コンサルティング、情報環境構築、ソフト開発等）、SM事業（アウトソーシング、システム運用・保守、ネットワーク管理等）といった情報化社会にマッチした幅広いサービスへと展開しています。東証第二部に上場しておりますので

株価をおし当社の活躍ぶりが同窓の皆さんにこれを機に注目していただければ幸いです。（分野・サービス 銘柄・日電計算）次に皆さんのお役に立てそうな当社のホットな情報を紹介します。

「思ひ出」
各位殿元気で御活躍の事と思ひます。卒業以来早いもので二十九年が過ぎました。今、ここに何か書けとの事ですので以下思いつくままアットランダムに思ひ出のフアジー的要素の多い所は御容赦頂き度く。

①位相数学（トポロジー）につき大変悩まされたこと。レクチャーのノートへの書き込みが一杯で、理解の頭の回転の悪さは出席日数でカバーした。②移転した片山校舎にてのゼミ帰り、国有地の不要と思われるミカンを拝借して、栄養不足の補いに。（これは時効か）③市内の焼鳥屋（酒の銘柄が新婚が主）にて、数学論他を十分論議したこと。これは次元（ディメンジョン）の低い内容だったはず。今でも店が繁盛しているかなあ。

近況報告
物理学科 和田文雄
私が大学を卒業して九年、「十年ひと昔」なんて言葉があります。自分の学生生活が、「ひと昔」になろうと

を活用して日本はもとより世界中に市場を拡大してみたいかがでしょうか。最後になりましたが、本同窓会のますますの発展と同窓会々員皆様のご活躍を祈念いたします。
（数学科第一回卒）

平成8年度静岡大学理学部同窓会会計報告

（～H.9. 3.31）	
収入の部	円
前年度より繰越	2,954,202
前年度会費（新入生191件）	1,910,000
前年度会費他（卒業生69件）	600,000
前年度名簿代	11,000
前年度受取り利息	5,907
計5,481,109	
支出の部	
印刷費	294,510
通信費	227,790
会議費、事務用品費、払込手数料等	196,508
備品代	0
総会費	0
積立金（特別会計）	2,000,000
計2,718,808	
差引残高2,762,301	

以上報告致します。平成9年3月31日 会計担当理事 浅野安人、野本久正、杉山洋一、佐藤初男

平成8年度静岡大学理学部同窓会特別会計報告

（～H.9. 3.31）	
収入の部	円
前年度より繰越	8,752,272
今年度末繰入金	2,000,000
今年度受取り利息	34,359
計10,786,631	
支出の部	
特別支出	0
計0	
差引残高10,786,631	

以上報告致します。平成9年3月31日 会計担当理事 浅野安人、野本久正、杉山洋一、佐藤初男

同窓生の窓

生物学科 洲崎武彦
最近ダイオキシンが問題になってきました。新聞では静岡大学構内での焼却炉の使用も行わなくなってきたり、金融自由化（ビッグバン）によりその厳しさは一段と増してくるに違いありませんが、こんな分野でも頑張っている同窓生もいるのかと認識して頂ければ幸いです。（第二十一回卒）

無題
生物学科 佐橋千春
卒業して十二年、地学とは無関係な事務職で六年働いた後、家庭の主婦としてのん気に暮らしています。在学中は「環境」という言葉を地学的にとらえて勉強していたのですが、二人の子持ちとなると専ら生活環境という方に向けて考えがまわります。産廃処理場問題が町長選挙事件に発展した御高岡は隣りにあり、わが土岐市内の町でも、中日

生物学科 洲崎武彦
没頭するでもなく、就職、就職して皆とは畑違いの金融機関を選んだりと随分へそまがりな男だったと思えます。こんな私も五年間の営業勤務後三年前に結婚し一児（二歳）の父親となって現在に至っております。全く畑違いであると思っていた関係の知識も銀行内では電算関係は勿論の事、営業で顧客との会話に出てくる技術的な話にも使えらるし結構役に立っています。この道を選んだ事は大正解と言えないまでもまあまあじゃないのかなと思う今日この頃であります。

地球科学科 佐橋千春
卒業して十二年、地学とは無関係な事務職で六年働いた後、家庭の主婦としてのん気に暮らしています。在学中は「環境」という言葉を地学的にとらえて勉強していたのですが、二人の子持ちとなると専ら生活環境という方に向けて考えがまわります。産廃処理場問題が町長選挙事件に発展した御高岡は隣りにあり、わが土岐市内の町でも、中日

事務局から

静岡大学は、平成十一年六月一日に創立五十周年を迎えようとしています。静岡大学が送りだした卒業生七万余名のうち一割弱が理学部の卒業生です。

静岡大学では数年前からこの五十周年という節目を期に、二十一世紀に活躍する静岡大学を創ろうと、学内改革を繰り返してまいりました。教養部の廃止、大学院の充実、情報学部の設立、各学部の改組、等々。

理学部では、大学院の充実、生物学科と地球科学科から生物地球環境科学科への発展的学科編成替えが挙げられます。

平成十一年六月五日には記念式典と記念祝賀会が計画されていますが、ほかに画されていますが、ほかに

昨年九月、前学長の永井衛先生ほか各学部同窓会の会長、理事が集まり、「静岡大学創立五十周年記念事業後援会」を発足させました。

理学部同窓会は静岡大学の各学部同窓会中最も若く、会員数も一割弱を占めるに過ぎませんが、私たち会長、副会長、理事一同は母校飛躍のために出来る限りの援助をしようと思っております。

同窓会報十四号の発送に際して、「静岡大学創立五十周年記念事業」への参加（資金援助）をお願いいたします。ぜひ御協力をお願い致します。
野口和廣

計報

物理学科教授長島弘幸先生は二月四日逝去されました。ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。